



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東  
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,837	8.5	1,256	24.7	1,290	25.2	872	25.7
2022年3月期第3四半期	9,064	9.7	1,007	1.7	1,030	3.2	694	3.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 798百万円(10.0%) 2022年3月期第3四半期 726百万円(△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	280.54	—
2022年3月期第3四半期	224.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,458	15,121	72.8
2022年3月期	20,252	14,509	70.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,899百万円 2022年3月期 14,293百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,200	3.4	1,670	4.7	1,680	3.6	1,140	3.0	368.94	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	3,420,000株	2022年3月期	3,420,000株
2023年3月期3Q	309,056株	2022年3月期	309,024株
2023年3月期3Q	3,110,969株	2022年3月期3Q	3,089,665株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められるなか、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに持ち直しております。

このような環境のもと当社グループは、取扱製品の安定供給とお客様並びに全社員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,837百万円（前年同四半期比8.5%増）、利益面では、経常利益は1,290百万円（前年同四半期比25.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は872百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19の世界規模での発生に伴い影響を受けておりましたが、外来・入院・手術・検査等が回復傾向にあるため、人的資源の拡充にも努めたことにより医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。また、感染症対策製品の需要も継続しており、拡販を図りました。

これらの結果、売上高は2,695百万円（前期比3.6%増）、セグメント利益は336百万円（前期比14.1%減）となりました。

#### ②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズに対応するとともに、コロナ禍のなか感染防止に努め、きめの細かい営業活動を継続したことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」ともに好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は4,436百万円（前期比9.2%増）、セグメント利益は598百万円（前期比67.6%増）となりました。

#### ③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事の施工及び保守点検業務を行っております。配管設備工事は上期に大型物件の完工もあり好調に推移いたしました。配管設備保守点検は変わらず安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は931百万円（前期比78.0%増）、セグメント利益は173百万円（前期比89.3%増）となりました。

#### ④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、コロナ禍ではありましたが地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上が順調に推移いたしました。併せて、今後の事業拡大に向けレンタル資材の整備充実を行いました。

また、訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化により順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は682百万円（前期比3.0%増）、セグメント利益は3百万円（前期比91.9%減）となりました。

#### ⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師常駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様なニーズを把握したうえで、COVID-19の感染予防とまん延防止を最重視した運営を徹底することで入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ 王子」（東京都北区）におきましても、感染防止に留意しつつ、地元密着型のサービスの提供と顧客ニーズの多様化に対応した稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は266百万円（前期比0.9%減）、セグメント利益は22百万円（前期比174.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は20,458百万円(前連結会計年度末比205百万円増)となりました。これは主に、ソフトウェアが231百万円、投資有価証券が334百万円増加し、現金及び預金が365百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,336百万円(前連結会計年度末比405百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が204百万円、固定負債のその他のうちリース債務が193百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は15,121百万円(前連結会計年度末比611百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が686百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,760,258	8,394,627
受取手形、売掛金及び契約資産	2,538,261	2,409,420
棚卸資産	237,632	344,115
その他	79,568	184,050
貸倒引当金	△869	△713
流動資産合計	11,614,850	11,331,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,090,138	1,364,373
土地	3,462,663	3,462,663
その他(純額)	1,777,875	1,491,764
有形固定資産合計	6,330,677	6,318,801
無形固定資産		
投資その他の資産	92,909	242,931
投資有価証券	982,981	1,317,781
その他	1,231,468	1,247,310
貸倒引当金	△605	△121
投資その他の資産合計	2,213,845	2,564,970
固定資産合計	8,637,432	9,126,704
資産合計	20,252,282	20,458,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,488,642	2,283,986
未払法人税等	295,350	164,830
賞与引当金	176,600	79,200
その他	1,267,221	1,520,554
流動負債合計	4,227,813	4,048,572
固定負債		
役員退職慰労引当金	802,500	846,000
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	707,005	436,818
固定負債合計	1,514,650	1,287,963
負債合計	5,742,464	5,336,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	553,518	553,518
利益剰余金	13,831,980	14,518,060
自己株式	△873,024	△873,227
株主資本合計	13,948,655	14,634,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,069	210,862
退職給付に係る調整累計額	72,768	54,308
その他の包括利益累計額合計	344,837	265,171
非支配株主持分	216,326	221,966
純資産合計	14,509,818	15,121,669
負債純資産合計	20,252,282	20,458,204

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	9,064,849	9,837,182
売上原価	4,611,554	4,894,869
売上総利益	4,453,295	4,942,313
販売費及び一般管理費	3,445,521	3,685,318
営業利益	1,007,773	1,256,994
営業外収益		
受取利息	1,283	1,237
受取配当金	16,500	19,728
受取家賃	7,537	9,165
仕入割引	2,671	3,628
その他	3,895	11,660
営業外収益合計	31,888	45,420
営業外費用		
支払利息	6,272	4,821
その他	2,853	6,892
営業外費用合計	9,125	11,714
経常利益	1,030,536	1,290,700
特別利益		
固定資産売却益	1,916	—
特別利益合計	1,916	—
特別損失		
固定資産除却損	72	0
特別損失合計	72	0
税金等調整前四半期純利益	1,032,379	1,290,700
法人税等	330,800	411,779
四半期純利益	701,579	878,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,235	6,182
親会社株主に帰属する四半期純利益	694,344	872,738

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	701,579	878,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,280	△63,242
退職給付に係る調整額	△15,495	△16,964
その他の包括利益合計	24,784	△80,207
四半期包括利益	726,363	798,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,340	793,072
非支配株主に係る四半期包括利益	5,023	5,640

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,601,422	4,063,044	523,337	662,693	268,862	8,119,359	945,490	9,064,849
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	73,268	—	—	73,268	—	73,268
計	2,601,422	4,063,044	596,605	662,693	268,862	8,192,628	945,490	9,138,118
セグメント利益	391,326	357,056	91,758	41,056	8,244	889,442	118,331	1,007,773

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	889,442
「その他」の区分の利益	118,331
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,007,773

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,695,729	4,436,058	931,583	682,523	266,509	9,012,404	824,778	9,837,182
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	70,828	—	—	70,828	—	70,828
計	2,695,729	4,436,058	1,002,411	682,523	266,509	9,083,232	824,778	9,908,010
セグメント利益	336,224	598,511	173,679	3,336	22,631	1,134,385	122,609	1,256,994

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,134,385
「その他」の区分の利益	122,609
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,256,994

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。